



Worldsleeep2011
Kyoto, JAPAN

Worldsleeep2011

日本睡眠学会第 36 回定期学術集会

October 15-20, 2011

- スポンサーシップ、ランチオンセミナー、共催シンポジウム、市民公開講座、展示、書籍展示、広告募集要項

ご挨拶

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、Worldsleep2011 および日本睡眠学会第 36 回定期学術集会
が、2011 年 10 月 15-20 日に京都府京都市の国立京都国際会館にて開催する
こととなりました。Worldsleep は 4 年毎に世界各国で開催され、今回で第 6
回目の開催となります。睡眠障害は QOL のみならず、高血圧・糖尿病・脳卒
中・心筋梗塞・うつ病などに密接に関連いたします。そのため世界 49 カ国 1
地域から、関連分野を含む睡眠学を牽引する 3500 名以上の研究者や臨床家
が参加します。そして本学術集会を通して、睡眠学の基礎を築き活力のあふ
れた 21 世紀の社会作りに貢献し、日本から世界へ新たな睡眠学を発信して
いきたいと考えております。

本学術集会組織委員会は、貴社をはじめとする国内外の企業に対し、様々な
催しのスポンサーとなっていていただきたくお願い申し上げます。それにより、
貴社およびその製品・サービスにとって、睡眠学分野における最大のプロモー
ションの機会をご提供できると考えております。

スポンサーシップの内容につきましては、貴社のご要望・ご予算に合わせ、
ご相談に応じますので、ぜひご検討の程お願い申し上げます。詳細につきま
しては、下記事務局までお問い合わせください。

Worldsleep2011
Chair of Local Organizing Committee
大川 匡子
President of Asian Sleep Research Society

日本睡眠学会第 36 回定期学術集会
会長 清水 徹男
日本睡眠学会理事長

Worldsleep2011/ 日本睡眠学会第 36 回定期学術集会 事務局
株式会社コンベンションリンクージ内
TEL: 06-6377-2070 FAX: 06-6377-2075
E-mail: ws2011@secretariat.ne.jp



Worldsleep2011
Kyoto, JAPAN

■ **開催概要**

1. 学会名称

Worldsleep2011
日本睡眠学会第 36 回定期学術集会

2. 主催者

世界睡眠連合、アジア睡眠学会、日本睡眠学会
共催：日本学術会議
後援（予定）：厚生労働省、京都府、京都市

3. 会期

平成 23 年 10 月 15 日（土）～ 20 日（木）

4. 会場

国立京都国際会館
〒 606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷲町 422 番地
TEL: 075-705-1234（代表） FAX: 075-705-1100

5. 参加予定者数

Worldsleep2011：3500 名
日本睡眠学会第 36 回定期学術集会：2000 名
49 カ国・1 地域

6. 会議の目的と開催意義

世界中の睡眠研究者が集まり、人間の睡眠習慣と睡眠の役割を明らかにし、睡眠覚醒リズムの調節機構の解明、睡眠障害の治療法についての研究発表および討議を行うことにより、睡眠学の進歩・発展に貢献することを目的としている。

7. 会議開催の経緯と概要

Worldsleep は、世界睡眠連合（World Sleep Federation）が 4 年ごとに開催する会議であり、1991 年の第 1 回から当会議で 6 回を数える国際会議である。世界睡眠連合の構成学会の 1 つであるアジア睡眠学会の会員数は約 3500 人であり、アメリカに次ぐ世界第 2 位の会員数を有するが、この国際会議は日本だけでなくアジアでの開催も経験を持たなかった。

そこでこの度、2007 年 9 月 2 日にオーストラリア（ケアンズ）で行われた World Sleep Federation (WSF) の Council Meeting にて、アジア睡眠学会の中核メンバーである日本睡眠学会を中心に 2011 年の Worldsleep2011 を日本で開催することが決定され、2008 年 5 月 24 日、組織委員会を設立して開催の準備を開始した。第 1 回の開催から 20 年目にあたる 2011 年に日本で Worldsleep2011 を開催することはきわめて意義深く、アジア、広くは世界の睡眠学会へ与えるインパクトは甚大である。

近年、生活様式の多様化、夜型化により睡眠時間が短縮し、それによりさまざまな弊害が生じている。たとえば、睡眠障害は、昼間の眠気に起因する交通事故のみならず、高血

庄・糖尿病・心筋梗塞・うつ病などの誘引となる。昼間の眠気は、事故ばかりでなく毎日の就業や勉学の生産能率低下につながり、このような状態が長期化すると心身への影響もみられ、不安やうつ状態をまねく場合があり、睡眠の問題がもたらす社会経済的損失は計り知れない。また、睡眠不足だけでなく、今や国民の4～5人に1人が睡眠について何らかの悩みをもっていると言われている。睡眠時無呼吸症候群による新幹線の運転士の居眠りなどのニュースは記憶に新しい。現在、睡眠を単に「睡眠医学」の領域からのみでなく、社会経済問題からみた「睡眠社会学」、睡眠の役割やメカニズムを研究する「睡眠科学」の3つの切り口から取り扱っていきこうという機運が高まっており、これら3つをまとめた「睡眠学」という新しい学問体系が確立しつつある。

この度のWorldsleep2011では、”New Horizons of Sleep Research for Our Planet”をメインテーマに掲げ、睡眠障害、ナルコレプシー、不眠症、睡眠呼吸障害、睡眠のメカニズム、睡眠生理・薬理学、うつ病と睡眠、生活習慣病と睡眠、睡眠サイクル、神経薬理学など幅広いテーマを取り上げ、多くの海外の研究者の参加を得て貴重な学術情報の交換の場を提供することを目的としている。そして日本睡眠学会第36回定期学術集会を併催することにより、アジアならびに日本の睡眠学会が更なる飛躍を遂げることを期待する。

8. 会議の概要

(1) 会議の構成

総会、シンポジウム、プレナリーレクチャー、教育講演、一般講演(ポスター) 600題、市民公開講座、機器・書籍展示、ウェルカムレセプション、コングレスパーティー、スポンサーセミナー等

(2) 会議の日程(予定)

	AM		PM			EV
Saturday Oct.15	JSSR					
	Poster Session / Exhibition					
Sunday Oct.16	JSSR					
			Opening Ceremony	Opening Lecture	Welcome Reception	
Poster Session / Exhibition						
Monday Oct.17	Plenary Lecture	Plenary Symposia Educational Lecture Workshop	Plenary Lecture	Plenary Symposia Educational Lecture Workshop	Plenary Lecture	
	Poster Session / Exhibition					
Tuesday Oct.18	Plenary Lecture	Plenary Symposia Educational Lecture Workshop				
	Poster Session / Exhibition					
Wednesday Oct.19	Plenary Lecture	Plenary Symposia Educational Lecture Workshop	Plenary Lecture	Plenary Symposia Educational Lecture Workshop	Plenary Lecture	Congress Party
	Poster Session / Exhibition					
Thursday Oct.20	Plenary Lecture	Plenary Symposia Educational Lecture Workshop	Plenary Lecture	Plenary Symposia Educational Lecture Workshop	Plenary Lecture	
	Poster Session / Exhibition					

※ JSSR = 日本睡眠学会第36回定期学術集会

(3) 参加予定国

アイスランド共和国、アイルランド、アメリカ合衆国、アルゼンチン共和国、イスラエル国、イタリア共和国、インド、エジプト・アラブ共和国、エストニア共和国、オーストラリア連邦、オーストリア共和国、オランダ王国、ガーナ共和国、カナダ、キプロス共和国、キューバ共和国、グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国、クロアチア共和国、サウジアラビア王国、シンガポール共和国、スイス連邦、スウェーデン王国、スペイン、セネガル共和国、タイ王国、大韓民国、チェコ共和国、中華人民共和国、チュニジア共和国、チリ共和国、デンマーク王国、ドイツ連邦共和国、トルコ共和国、日本、ニュージーランド、ノルウェー王国、ハンガリー共和国、フィリピン共和国、フィンランド共和国、ブラジル連邦共和国、フランス共和国、ブルガリア共和国、ベルギー王国、ポーランド共和国、ポルトガル共和国、香港特別行政区、マレーシア、アフリカ共和国、メキシコ合衆国、ロシア連邦
以上、49 カ国・1 地域

(4) 使用言語

英語（一部日本語）

9. 本大会についての連絡先

Worldsleep2011 事務局：
滋賀医科大学 睡眠学講座
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

日本睡眠学会第36回定期学術集会事務局：
秋田大学医学部神経運動器学講座
〒010-8543 秋田県秋田市本道1-1-1

Worldsleep2011・日本睡眠学会第36回定期学術集会運営事務局：
株式会社コンベンションリンケージ
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 PIAS TOWER 11F
TEL: 06-6377-2070 FAX: 06-6377-2075
E-mail: ws2011@secretariat.ne.jp

10. 組織委員会名簿

Worldsleep2011

- International Organizing Committee

Masako Okawa	World Sleep Federation
Naomi Rogers	Austrarian Sleep Association
Dieter Riemann	European Sleep Research Societies
Celyne Bastien	Canadian Sleep Society
Geraldo Lorenzo-Filhi	American Academy of Sleep Medicine
Joel Dimsdale	Sleep Research Society USA
Sergio Tufik	Federation of Latin American Sleep Societies
H. N. Mallick	Asian Sleep Research Society

- International Program Committee

Daniel Caridinali	World Sleep Federation
Cameron Van Den Heuvel	Austrarian Sleep Association
Claudio Bassetti	European Sleep Research Societies
Gilles Lavigne	Canadian Sleep Society
Mary Morrell	American Academy of Sleep Medicine
Chiara Cirelli	Sleep Research Society USA
Ricardo A Velluti	Federation of Latin American Sleep Societies
Ken-ichi Honma	Asian Sleep Research Society

-Local Organizing Committee

委員長	大川 匡子	滋賀医科大学睡眠学講座
副委員長	清水 徹男	秋田大学大学院医学研究科医学専攻 病態制御医学系精神科学講座
	Do-Un jeong	Korean Society of Sleep Medicine
	Ning-hung Chen	Taiwan Society of Sleep Medicine
事務局長	本間 研一	北海道大学医学研究科生理学講座
副事務局長	大井田 隆	日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野
委員	塩見 利明	愛知医科大学医学部睡眠科
	宮崎 総一郎	滋賀医科大学睡眠学講座
	平田 幸一	獨協医科大学神経内科
	H. N. Mallick	Indian Society for Sleep Research
	Naiphinich Kotchabhakdi	Thai Society for Sleep Research

- Local Program Committee

- | | | |
|-------|-------------|---|
| 委員 長 | 本間 研一 | 北海道大学医学研究科生理学講座 |
| 副委員 長 | 裏出 良博 | 大阪バイオサイエンス研究所
第2研究部分子行動生物学部門 |
| | 内山 真 | 日本大学医学部精神医学系 |
| | H.N.Mallick | Indian Society for Sleep Research |
| 委 員 | 堀 忠雄 | 福山通運渋谷長寿健康財団睡眠研究所 |
| | 小林 敏孝 | 足利工業大学システム情報工学科 |
| | 本多 和樹 | ハムリー株式会社筑波研究センター睡眠科学研究所 |
| | 神山 潤 | 東京ベイ・浦安市川医療センター |
| | 井上 雄一 | 神経研究所附属睡眠学センター代々木睡眠クリニック
/ 東京医科大学睡眠学講座 |
| | 赤柴 恒人 | 日本大学医学部睡眠学・呼吸器内科分野 |
| | 三島 和夫 | 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
精神生理研究部 |
| | 角谷 寛 | 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター
疾患ゲノム疫学解析分野 |

- Active Financial Committee

- | | | |
|-------|-------|---|
| 委員 長 | 内山 真 | 日本大学医学部精神医学系 |
| 副委員 長 | 平田 幸一 | 獨協医科大学神経内科 |
| | 山田 尚登 | 滋賀医科大学精神医学講座 |
| 委 員 | 清水 徹男 | 秋田大学大学院医学研究科医学専攻
病態制御医学系精神科学講座 |
| | 内村 直尚 | 久留米大学医学部神経精神医学講座 |
| | 井上 雄一 | 神経研究所附属睡眠学センター代々木睡眠クリニック
/ 東京医科大学睡眠学講座 |
| | 赤柴 恒人 | 日本大学医学部睡眠学・呼吸器内科分野 |
| | 大塚 邦明 | 東京女子医科大学東医療センター内科 |
| | 石郷岡 純 | 東京女子医科大学医学部精神医学教室 |

- Active Publicity Committee

- | | | |
|------|--------|----------------------|
| 委員 長 | 粥川 裕平 | 国立大学法人名古屋工業大学保健センター |
| 委 員 | 白川 修一郎 | 国立精神・神経センター精神保健研究所 |
| | 千葉 茂 | 旭川医科大学医学部精神医学講座 |
| | 野沢 胤美 | 虎の門病院神経内科臨床生理検査部 |
| | 福田 一彦 | 江戸川大学社会学部人間心理学科 |
| | 田ヶ谷 浩邦 | 北里大学医療衛生学部健康科学科精神衛生学 |

- Active Liaison Committee

委員長	小林 敏孝	足利工業大学システム情報工学科
委員	本多 和樹	ハムリー株式会社筑波研究センター睡眠科学研究所
	杉田 義郎	大阪大学大学院医学系研究科 予防環境医学専攻精神健康医学
	三島 和夫	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神生理研究部

- Active Registration Committee

委員長	宮崎 総一郎	滋賀医科大学睡眠学講座
副委員長	駒田 一郎	社会保険滋賀病院耳鼻咽喉科
委員	千葉 伸太郎	太田総合病院記念研究所附属診療所 太田睡眠科学センター
	鈴木 雅明	帝京大学医学部耳鼻咽喉科学教室
	今井 眞	滋賀医科大学精神医学講座

- Active Congress Committee

委員長	角谷 寛	京都大学大学院医学研究科付属ゲノム医学センター 疾患ゲノム疫学解析分野
委員	裏出 良博	大阪バイオサイエンス研究所 第2研究部分子行動生物学部門
	山田 尚登	滋賀医科大学精神医学講座
	駒田 一郎	社会保険滋賀病院耳鼻咽喉科
	大川 匡子	滋賀医科大学睡眠学講座
	菊池 哲	医療法人社団秋桜会コスモス矯正歯科医院
	末永 和栄	医療法人社団青山会青木病院検査課
	加根村 隆	滋賀医科大学睡眠学講座
	八木 朝子	愛仁会太田総合病院記念研究所附属診療所 太田睡眠科学センター
	木村 弘	奈良県立医科大学内科学第二講座

日本睡眠学会第36回定期学術集会

会 長	清水 徹男	秋田大学大学院医学研究科医学専攻 病態制御医学系精神科学講座
副 会 長	山田 尚登	滋賀医科大学精神医学講座
運 営 委 員	井上 雄一	神経研究所附属睡眠学センター代々木睡眠クリニック / 東京医科大学睡眠学講座
	内村 直尚	久留米大学医学部神経精神医学講座
	内山 真	日本大学医学部精神医学系
	裏出 良博	大阪バイオサイエンス研究所 第2研究部分子行動生物学部門
	大井田 隆	日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野
	大川 匡子	滋賀医科大学睡眠学講座
	角谷 寛	京都大学大学院医学研究科付属ゲノム医学センター 疾患ゲノム疫学解析分野
	末永 和栄	医療法人社団青山会青木病院検査課
	杉田 義郎 <small>(プログラム委員委員長)</small>	大阪大学大学院医学系研究科 予防環境医学専攻精神健康医学
	宮崎 総一郎	滋賀医科大学睡眠学講座
プログラム委員	今井 眞	滋賀医科大学精神医学講座
	加根村 隆	滋賀医科大学睡眠学講座
	神林 崇	秋田大学精神科学教室
	木村 弘	奈良県立医科大学内科学第二講座
	駒田 一朗	社会保険滋賀病院耳鼻咽喉科
	陳 和夫	京都大学大学院医学研究科



Worldsleep2011
Kyoto, JAPAN

■ スポンサーシップ、ランチョンセミナー、共催シンポジウム、
市民公開講座、展示、書籍展示、広告募集要項

Platinum Sponsor – プラチナスポンサー

¥15,750,000 (税込)

- 特典・ランチョンセミナー 1 枠 (日時・会場の第 1 優先権付き※)
- ・共催シンポジウム 1 枠 (日時・会場の第 1 優先権付き※)
 - ・上記セミナー・シンポジウムの同時通訳費用
 - ・展示スペース (6 小間 /24㎡) および場所選択の第 1 優先権※
 - ・プログラム・アブストラクトへの広告掲載 (掲載位置の第 1 優先権付き※)
 - ・コンgresバック制作費用 (社名 / ロゴ掲載)
 - ・ポケットプログラム制作費用 (社名 / ロゴ掲載)
 - ・コーヒープレイク費用
 - ・10 名の会議参加無料登録
 - ・コンgresバックへの封入物 1 点
 - ・スポンサー看板への Platinum Sponsor としての社名 / ロゴ掲載
 - ・大会ホームページへの Platinum Sponsor としての社名 / ロゴ掲載
 - ・印刷物への Platinum Sponsor としての社名 / ロゴ掲載

※プラチナスポンサーの中では先着順

Gold Sponsor – ゴールドスポンサー

¥7,350,000 (税込)

- 特典・ランチョンセミナー 1 枠 (日時・会場の第 2 優先権付き※)
- ・上記セミナーの同時通訳費用
 - ・展示スペース (4 小間 /16㎡) および場所選択の第 2 優先権
 - ・プログラム・アブストラクトへの広告掲載 (掲載位置の第 1 優先権付き※)
 - ・ペン制作費用 (社名 / ロゴ掲載)
 - ・ノートパッド (社名 / ロゴ掲載)
 - ・ネームカード制作費用
 - ・ネームケース制作費用
 - ・コーヒープレイク費用
 - ・5 名の会議参加無料登録
 - ・コンgresバックへの封入物 1 点
 - ・スポンサー看板への Gold Sponsor としての社名 / ロゴ掲載
 - ・大会ホームページへの Gold Sponsor としての社名 / ロゴ掲載
 - ・印刷物への Gold Sponsor としての社名 / ロゴ掲載

※ゴールドスポンサーの中では先着順

Silver Sponsor – シルバースポンサー

¥5,250,000 (税込)

- 特典・ランチョンセミナー 1 枠 (日時・会場の第 3 優先権付き※)
- ・上記セミナー・シンポジウムの同時通訳費用
 - ・展示スペース (2 小間 /8㎡) および場所選択の第 3 優先権※
 - ・プログラム・アブストラクトへの広告掲載 (掲載位置の第 3 優先権付き※)
 - ・コーヒープレイク費用
 - ・2 名の会議参加無料登録
 - ・コンgresバックへの封入物 1 点
 - ・スポンサー看板への Silver Sponsor としての社名 / ロゴ掲載
 - ・大会ホームページへの Silver Sponsor としての社名 / ロゴ掲載
 - ・印刷物への Silver Sponsor としての社名 / ロゴ掲載

※シルバースポンサーの中では先着順

Luncheon Seminar – ランチョンセミナー **¥1,575,000 - ¥2,625,000(税込)**

- ・座長、演者、内容については共催企業様に委ねます。
 - ・海外演者がいる場合は、別途、同時通訳費用（通訳者、通訳機材）が発生いたします。
 - ・開催日時については前後のプログラムと調整するため、希望に添えない場合がございます。
 - ・以下の費用は上記共催費に含まれておりません。共催企業様の実費オプションとなります。本大会終了後、株式会社コンベンションリンクージから実費費用を請求させていただきます。
- 招聘費：座長・演者の謝金・交通宿泊費
料飲費：参加者用弁当（お茶込み）、演者・座長打合せ食事等
人件費：セミナー運営スタッフ
（映写オペレーター、アナウンス係、照明係、進行係、弁当・資料の配布係等）
看板・表示物：会場表示看板、氏名掲示（演者・座長）等
追加機材：収録、控室の機材等

Sponsored Symposium – 共催シンポジウム **¥2,100,000(税込)**

- ・座長、演者、内容については大会にて決定いたします。
 - ・海外演者2名以上含め、別途、同時通訳費用（通訳者、通訳機材）が発生いたします。
 - ・開催日時については前後のプログラムと調整するため、希望に添えない場合がございます。
 - ・以下の費用は上記共催費に含まれておりません。共催企業様の実費オプションとなります。本大会終了後、株式会社コンベンションリンクージから実費費用を請求させていただきます。
- 招聘費：座長・演者の謝金・交通宿泊費
料飲費：参加者用弁当（お茶込み）、演者・座長打合せ食事等
人件費：セミナー運営スタッフ
（映写オペレーター、アナウンス係、照明係、進行係、弁当・資料の配布係等）
看板・表示物：会場表示看板、氏名掲示（演者・座長）等
追加機材：収録、控室の機材等

Lecture open to the public – 市民公開講座 **¥2,100,000(税込)**

- ・座長、演者、内容については大会にて決定いたします。

Exhibit - 展示**¥262,500 / ¥420,000(税込)**

- ・スペース (W2000xD2000) ¥250,000/ 小間
- ・基礎 (W2000xD2000xH2500mm) ¥400,000/ 小間
- ・展示期間は 10月15日 (土) ~ 10月20日 (木) となります。

Book Exhibit - 書籍展示**¥52,500(税込)**

- ・机 (W1800mm x D90mm) ¥50,000/ 本
- ・展示期間は 10月15日 (土) ~ 10月20日 (木) となります。

Advertisement - 広告**¥63,000 - ¥105,000(税込)**

- ・Worldsleep2011アブストラクト(英語)又は日本睡眠学会第36回定期学術集会抄録集(日本語)のいずれかへの掲載となります。(金額は同一です)

種 類	タイプ	金 額
後付け	モノクロ A4 1 頁	¥105,000
後付け	モノクロ A4 1/2 頁	¥63,000



Worldslepp2011/ 日本睡眠学会第 36 回定期学術集会 事務局
株式会社コンベンションリンクージ内
TEL: 06-6377-2070 FAX: 06-6377-2075
E-mail: ws2011@secretariat.ne.jp

<http://www.worldslepp2011.jp/>